

静岡

朝鮮通信使 意義探る

徳川みらい学会 明大教授 講演

徳川時代の歴史的意義を研究、発信する「徳川みらい学会」と静岡商工会議所は19日、江



朝鮮通信使をテーマに講演する須田教授＝静岡市駿河区の県男女共同参画センター

戸時代に朝鮮王朝が日本に派遣した朝鮮通信使を題材にした講演会を、静岡市駿河区の県男女共同参画センターで開いた。明治大の須田努教授が「江戸時代の異文化コミュニケーション ション 地域の祭りにつながる朝鮮通信使」と題して講演した。須田教授は「善隣外交」とも呼ばれる当時の日朝関係について、「内実は、日本の為政者や知識人は朝鮮通信使に不信感があり、武力の面からは日本が上と見る意識があった」と解説した。一方、実際に交流があった大名や庶民などの意識は異なり「朝鮮通信使は憧れの存在だった」と指摘。今も朝鮮通信使を模した行列などが残る各地の祭りの様子を動画や写真を交え、紹介した。